

RENOVATION SCHOOL IWATSUKI

“岩槻にすぎたるものが二つある。
児玉南柯と時の鐘”

城下町の面影が残る、伝統と文化のまち岩槻。このまちには、藩校を創立した教育者の児玉南柯を讃え、「時の鐘」の美しい音色を誇りに思うことばが伝えられています。さいたま市では2019年度より岩槻駅周辺のエリアを主な対象として、リノベーションまちづくりを推進しています。あなたにとって、まだ見ぬ“すぎたるもの”とは、どのようなものでしょうか。さいたま市初の開催となる「リノベーションスクール@岩槻」を通して、このまちの未来やこれからの暮らしを一緒につくってみませんか。



TO BE CONTINUED...

歴史と文化

岩槻はかつて「岩付」の字で室町時代の古文書に登場します。戦国時代には太田道真と太田道灌によって岩槻城が築城されたと言われています。のちに防御のために整備された「大構」と呼ばれる土塁は、愛宕神社において、いまでも往時の姿を見ることができ、文化財として市の史跡に指定されています。江戸時代には城下町・宿場町として賑わいをみせ、その頃に始まったとされる人形づくりは、歴史ある伝統産業としていまも岩槻の文化を支えています。2020年2月には岩槻の歴史や人形文化を発信し、魅力を伝える「岩槻人形博物館」および「にぎわい交流館いわつき」が開館予定であり、観光客が回遊できるしかけづくりが必要です。

立地と交通

岩槻はさいたま市の東部に位置し、緩やかに起伏した台地や元荒川の水辺など自然環境にも恵まれています。東西に東武野田線（東武アーバンパークライン）や国道16号、南北に国道122号と東北自動車道が走ります。まちの中心を通る「日光御成道」は、江戸時代に将軍が日光東照宮へ向かう道として整備され、岩槻は江戸を出た将軍が最初に宿泊する場所でした。岩槻駅周辺にはビジネスホテルや金融機関、警察、区役所、図書館、子育て支援センターなどの公共機能が集中しています。大型の病院もあり、地域住民の生活の拠点にもなっています。

あたらしい農業

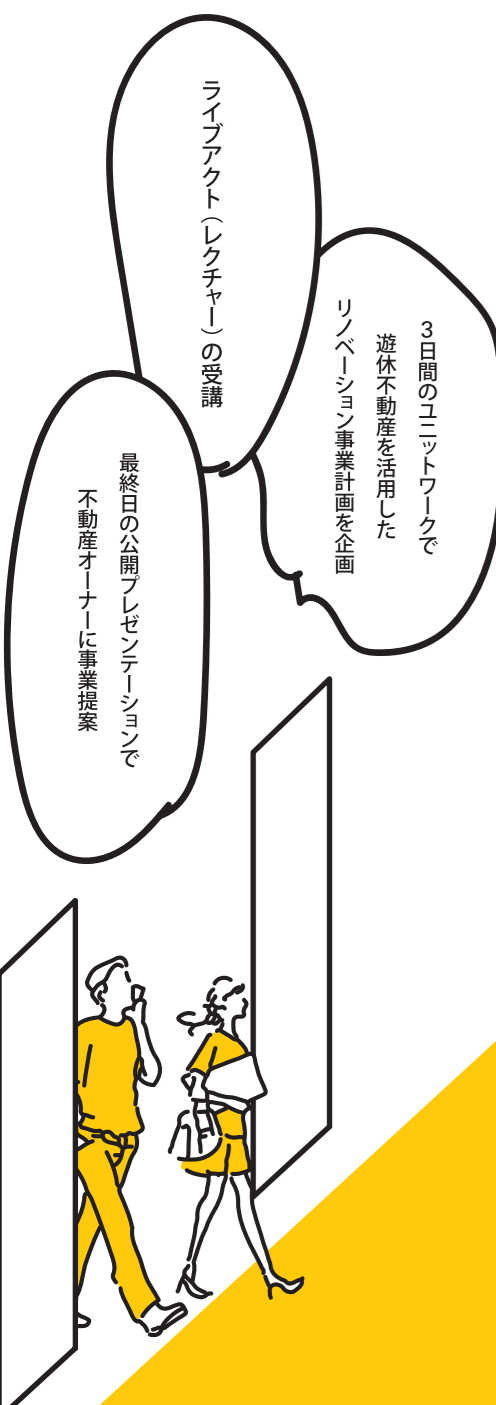
岩槻ではかつて米や大根、芋類を中心に栽培されていました。また、大消費地である首都圏に近い立地条件から、小松菜やほうれん草、ルッコラといった葉物類の野菜の栽培や果樹、観賞用の花や植木の生産なども盛んに行われるようになりました。近年では若手農家を中心としたヨーロッパ野菜の生産が全国的な注目を集めています。じつは、さいたま市はワインやチーズ、パスタのひとりあたりの消費が日本トップクラス。2013年に「さいたまヨーロッパ野菜研究会」が発足し、市内のイタリアンやフレンチのレストラン等に珍しい野菜を新鮮な状態で供給する、あたらしい地産地消のあり方に挑戦しています。

日々の暮らし

岩槻区の人口は約11万人（2019年11月現在）。近年は転入者により増加傾向にありますが、岩槻駅東口周辺では減少しています。岩槻は大宮などの商業エリアからも近く、電車で1時間ほどで都心にアクセスできるため、生活に便利な静かで住みやすいまちとしても注目されています。2017年には岩槻駅舎や東西自由通路があたらしく整備され、バリアフリー化も施されました。一方で、生活に必要な日用品は岩槻の中で購入されるものの、装飾品やインテリアといった生活を楽しむための買い物の機会は、ほかのまちに譲ってしまっているのが現状です。住民をはじめ通勤や通学の人が気軽に立ち寄れるような店舗や、多様な世代の人が交流したり休憩できる空間が求められています。

まちと空き家

戦後の岩槻のまちは人形づくりで活気を帯び、どの家もなんらかの工程に携わっていたほど。昭和30-40年代にまちなかにあった映画館やジーンズ店、洋菓子店といった流行を先取りした店は、みんなの憧れの的でした。現在、岩槻区では高齢化がすすみ、人形づくりの規模も2003年とくらべて約半減しています。若年層の人口割合は、さいたま市のなかで最も少ない状況です。まちなかに目を向けてみると、岩槻駅の周りには空き家や空き店舗が増えてきており、空き地や駐車場などの低未利用地も点在しています。一方、近年は古民家や蔵をリノベーションした喫茶店に遠方からお客さんが足を運ぶなど、すこずつまちの様子も変わり始めています。



ABOUT

リノベーションまちづくりとは？

空き家や空き店舗などの遊休不動産と地元の資源や産業、人材を活用して、まちなかの消費の流出など、地域経営課題の解決を図りながら、地域のコミュニティを活性化して新しい価値を生み出すまちづくりの手法です。

リノベーションスクールとは？

リノベーションスクールとは、実際の空き物件（遊休不動産）を題材として、「ユニット」とよばれる10人程度のチームを組んで、その物件を活用した事業プランをつくり上げて提案し、実事業化を目指す、きわめて実践的なスクールです。受講者は3日間でリノベーションの事業プランを練り上げ、最終日に遊休不動産のオーナーに提案し、オーナーから了承を得られれば、スクール後にその提案をもとに実事業化を目指します。

DAY 1 岩槻を知る

| |
|---------------------------------|
| 2月28日 [金] |
| 11:00-12:00 開校式、ガイダンス |
| 12:00-17:00 対象案件見学、まち歩き、ユニットワーク |
| 17:00-18:00 ショートプレゼン |
| 18:00-20:30 ライブアクト1 (レクチャー)等 |

DAY 2 事業計画を組み立てる

| |
|-----------------------------|
| 2月29日 [土] |
| 9:00-10:00 ライブアクト2 (レクチャー) |
| 10:00-17:00 ユニットワーク |
| 17:00-18:00 ショートプレゼン |
| 18:00-19:00 ライブアクト3 (レクチャー) |
| 19:00-20:00 ユニットワーク |

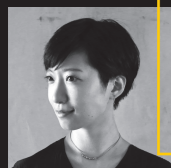
DAY 3 プレゼンテーションを練る

| |
|-------------------------|
| 3月1日 [日] |
| 9:00-15:00 ユニットワーク |
| 15:00-16:00 公開プレゼンテーション |
| 16:00-16:30 クロージングアクト |
| 16:30-19:00 閉校式・記念撮影等 |

※各ユニットの状況によりユニットワークが夜遅くに及ぶ場合があります

※タイムテーブルは変更する場合があります

Unit Master



瀬川 翠

シェアハウス「アンモナイト」大家
株式会社 Studio Tokyo West 一級建築士事務所 代表取締役

1989年東京都生まれ。大学生でシェアコミュニティ「アンモナイト」を結成、一軒家をセルフリノベーションしシェアハウスの運営を開始。現在は活動をまちに拡げ、吉祥寺～西荻窪エリアで多拠点近接ネットワーク型のまちなかシェアを運営。横浜国立大学大学院 Y-GSA に (株) Studio Tokyo West 設立。「銭湯再生計画」「草加駅前広場計画」をはじめ、多くのエアーマネジメントやブランディングに携わりながら新たな建築家の職能を探索。



小野 裕之

O&G 合同会社 代表
greenz.jp ビジネスアドバイザー
1984年岡山県生まれ。中央大学総合政策学部卒。ソーシャルデザインをテーマにしたウェブマガジン「greenz.jp」を運営するNPO法人グリーンズの経営を6年務めた後、同法人のソーシャルデザインやまちづくりに関わる事業開発・再生のプロデュース機能をO&G合同会社として分社化、代表に就任。greenz.jp ビジネスアドバイザー。ジュエリーブランド SIRI SIRI 共同代表。おむすびスタンド ANDON 共同代表。まちづくり会社 散歩社 共同代表。株式会社 sonraku 社外取締役。

Live Actor



殿塚 健吾

omusubi不動産代表
宅地建物取引士

1984年千葉県生まれ。中古マンションのリノベ会社、企業のCSRプランナーを経て、房総半島の古民家カフェ「ブラウズフィールド」に居候し、自然な暮らしを学ぶ。震災後、地元・松戸に戻り、オーナーがセルフビルドした「自給ハウス」にて部屋のDIYをしながら生活する。2011年、松戸駅前のまちづくりプロジェクト「MAD City」に参画し不動産事業の立ち上げをする。2014年4月に独立、おこめをつくる不動産屋「omusubi不動産」を設立。DIY可能物件を扱いながら、市川市初のシェアアトリエ「123ビルディング」や二世帯住宅をものづくりスペースに変えた「8lab」、築60年の社宅をリノベーションした「せんぼく工舎」など多くのシェアアトリエを運営。空き家をつかったまちづくりと田んぼをきっかけにした入居者との暮らしづくりに取り組んでいる。

REQUIREMENTS

募集要項

開催期間：2020年2月28日 [金] - 3月1日 [日] の3日間

募集人数：16名程度 (1ユニット8名、2ユニット)

※主催者側で厳正な選考を行います。参加の可否につきましては、個別に電子メールでお知らせします。

受講資格：

- ・リノベーションまちづくりに興味があり、自らが実践者となって遊休不動産を活用した地域再生に取り組みたい人
- ・パソコン (ワード、エクセル、パワーポイント) の操作ができる人
- ・スクールの全日程に参加できる人

申込締切：2020年1月23日 [木]

参加費：15,000円

※現地までの交通費や宿泊費、当日の飲食費等は受講生の負担となります。

持ち物：モバイルPC (必須)、ポケットWi-Fi (必要な方のみ)、デジタルカメラ (スマートフォン、携帯電話のカメラでも可)、筆記用具などをご持参ください。

申込方法：下記のURLまたは右下のQRコードからお申込ください。

<https://re-re-re-renaovation.jp/schools/iwatsuki01>

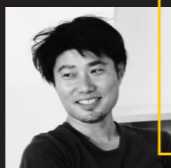
注意事項：

- ・受講決定後、参加費のお支払方法をお知らせします。
- ・事前課題があります。課題については、受講決定後にお知らせします。
- ・受講決定後のキャンセルは、原則できません。
- ・ご入金後のキャンセルによる返金はできない場合があります。予めご了承のうえ、お申込ください。
- ・やむを得ない事情により受講をとりやめる場合は、速やかに主催者までご連絡ください。
- ・グループワークでFacebookグループを活用しますので事前にアカウント登録をお願いします。
- ・スクール修了後にはアフターフォローの機会が予定されています。

主催：さいたま市 お問い合わせ先：さいたま市未来都市推進部 東部地域戦略担当 Tel: 048-829-1871 Fax: 048-829-1997

E-mail: mirai-toshi-suishin@city.saitama.lg.jp

Producer



山田 高広

株式会社三河家守舎代表取締役 / 森、道、市場な人

1979年愛知県生まれ。総合商社の企画営業を経て、まちを育てる世界へ、愛知県岡崎市を中心に、公民連携による都市再生プロセスの仕組みづくりや、不動産サブリース、飲食店プロデュース、ライフスタイルイベントの運営など多岐にわたる活動を行う。岩槻リノベーションまちづくりのプロデューサーとして関わる予定。

Yamada's Voice

暮らし方も働き方もまちのことも、その状況を変えるのは「自分」。まちの面白さは勝手に失われたのではなく、まちで暮らすほうがその活かし方を見失ってしまっているに過ぎないのです。理想の暮らしは与えられるものではなく自ら欲張りつくりだすもの。これは探求心と創造性を集結させた新たな挑戦。その一手を一緒に打ちましょ。

School Master



宮部 浩幸

株式会社スビーク / 近畿大学准教授

1972年千葉県生まれ。建築家。博士 (工学)。作品に「ロシア代田テラス」、《龍宮城アパートメント》など。著作に「リノベーションの教科書——企画・デザイン・プロジェクト」(共著 / 学芸出版社)、「世界の地方創生——辺境のスタートアップたち」(共著 / 学芸出版社) など。

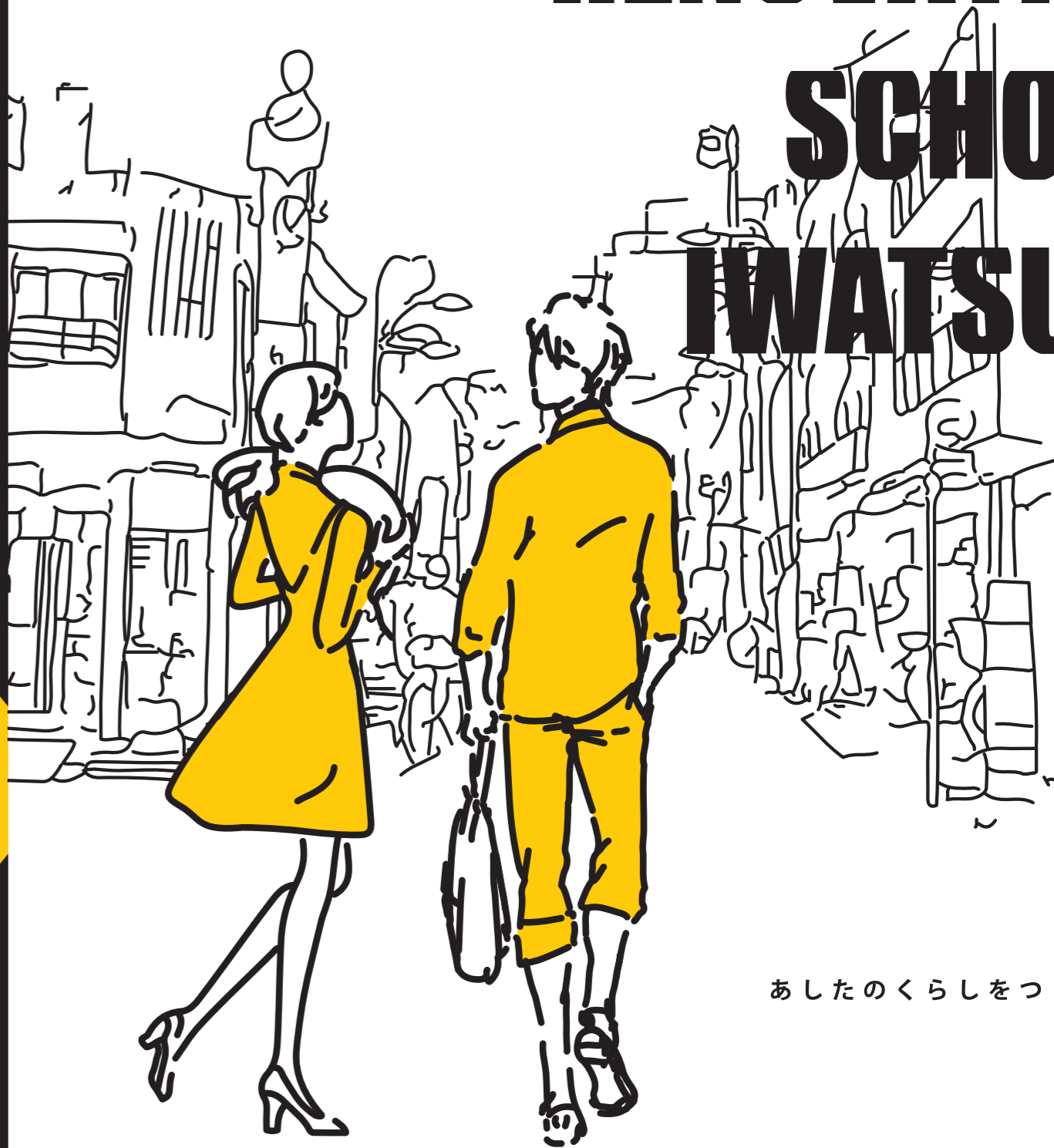
Miyabe's Voice

リノベーションスクールは学校というよりも、まちの可能性と暮らしを楽しむ仲間を見つけ、まちを動かす実践の場です。「2020年代に岩槻は再び暮らしやすい、働いてよしの笑顔溢れるまちになりました」という現実の物語と一緒に書きましょ。

このチラシは6,000部作成し、1部あたりの印刷費は31円です。

IWATSUKI
REBORN

RENOVATION SCHOOL IWATSUKI



あしたの暮らしをつくる3日間

リノベーションスクール@岩槻 スクール生募集

2020年2月28日 [金] - 3月1日 [日] 3日間

参加費：15,000円 | 会場：岩槻駅東口コミュニティセンター内

事前申込制・申込締切 [2020年1月23日] | 募集人数：16名程度

主催：さいたま市